



北海道の基幹産業である農業は道内約4万7千戸（正組合員戸数）の農家で支えられておりますが、女性農業者は「力強い農業」の実現にあたり、農業経営における重要な役割を担うとともに、消費者ニーズを捉える商品開発、プロモーション活動を展開するためには、女性の視点が必要です。

また、「豊かな魅力ある農村」の実現にあたっては、生活や文化、観光、健康福祉、子育て、食農教育、環境保全、サポーターづくりなどの活動において、女性の活躍が必要です。

JAは、女性農業者が「力強い農業」「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた活動に積極的に参画すること、それを通じて地域においてリーダーシップを発揮すること、さらにJAの役員として期待される見識を持つことなど「JA運営への参画」を後押しするための環境整備を図ります。

北海農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

道内には信用・共済・販売・購買等の事業を行っている、いわゆる総合農協といわれるJAが108組織あり、各JAの組合員や地域住民のために様々なサービスを提供しております。

また、上記JAには女性農業者が主な構成員となっているJA女性組織があり、自分たちで育てた作物を多くの人たちに食べてもらうために加工品にしたり、子供や親子を対象とした「料理教室」や地域住民を対象とした「JA女性大学」等を開催したりと、健全な「食」と「農」を次代に引き継ぐために、JAをよりどころに地域社会に密着した活動を展開しており、これからも豊かな地域社会づくりのためにJA女性組織の活動を応援して参ります。

北海道農業協同組合中央会（JA北海道中央会）について

本会は、北海道JAグループの総合指導機関として位置づけられ、その役割は「農業協同組合及び農業協同組合連合会の健全な発達を図る」というものであり、公共的性格の強い非営利の農業協同組合法（農協法）上に定める法人として、設置しております。

JA北海道中央会は北海道JAグループの総合指導機関として、使命・役割を果たすためにさまざまな事業活動を行っております。